

MaP+P

2011 vol.1

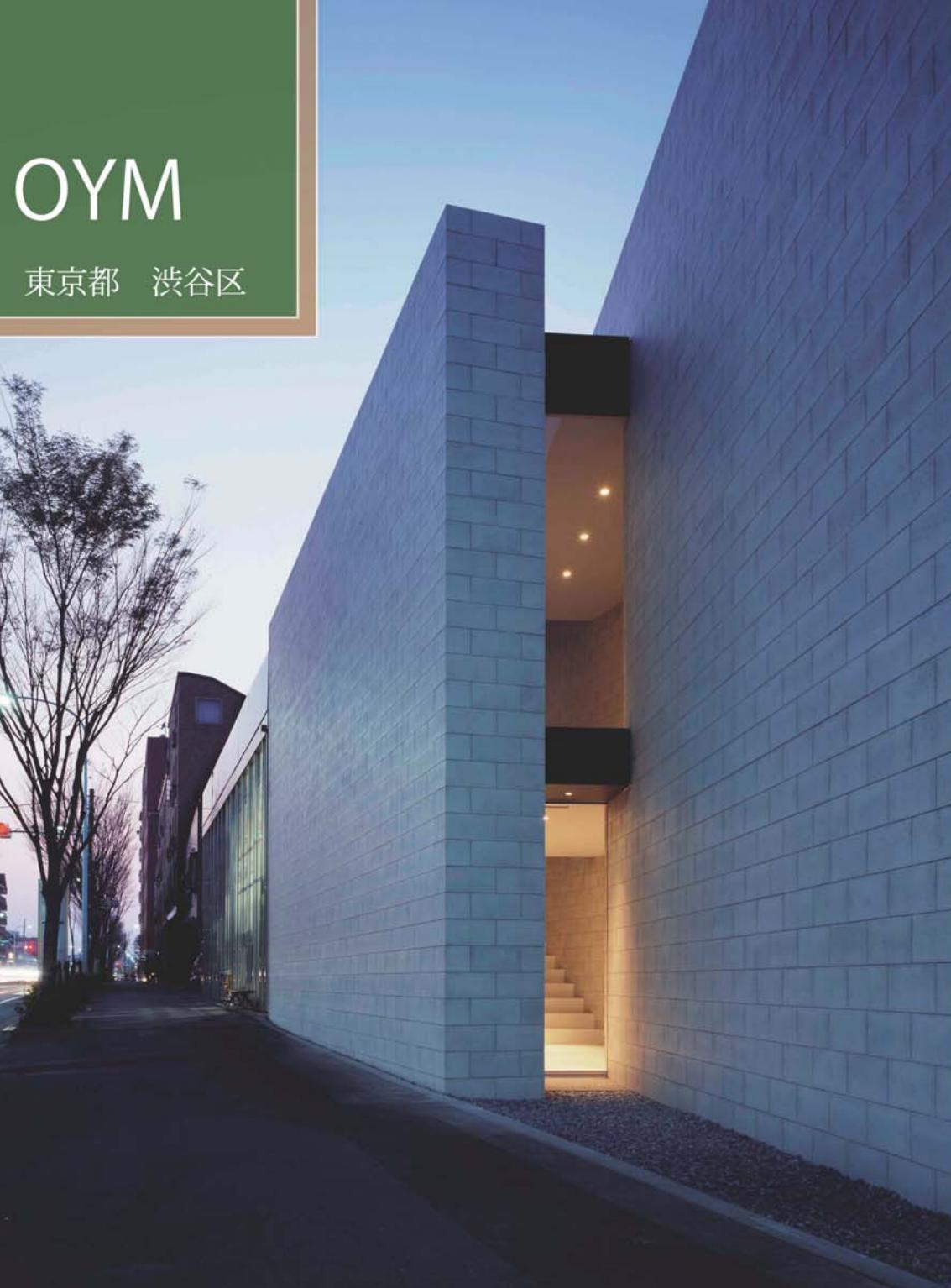
組積造の都市住宅特集号

- 1-2 OYM
- 3-4 吉祥寺の家
- 5-6 LIPSリップス
- 集合ガレージハウス
- 7-8 石双居
- 9-10 RMユニット デンクス



OYM

東京都 渋谷区



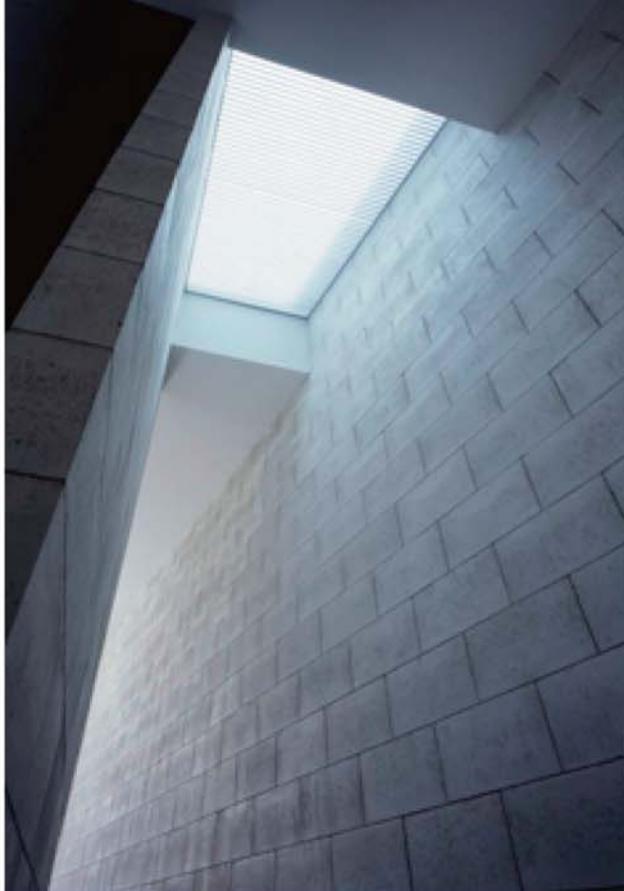
限られたスペースを
無駄なく使用するよ
うに設計し、道路側
に沿うように配置。

互いを少しづらし、
広いスペースと組積
造の特性を活かして
いる。

各階は自然な光が入
り、時間が止まった
ような穏やかな空気
が流れているオフィス。



■道路側正面



■玄関ホール

■構造 鉄筋コンクリート組積造
■外装・内装壁 RM ユニット 特注色
■建築設計 NIIZEKI STUDIO
■施工 TH-1
■撮影 西川 公朗

吉祥寺の家

東京都 武藏野市



■建物正面



■バスルーム

馬蹄形の門は貸店舗の

入口。何故か暖かな味

のある雰囲気を醸し出

している。

木ルーバーの門がある

住居スペースは露地を

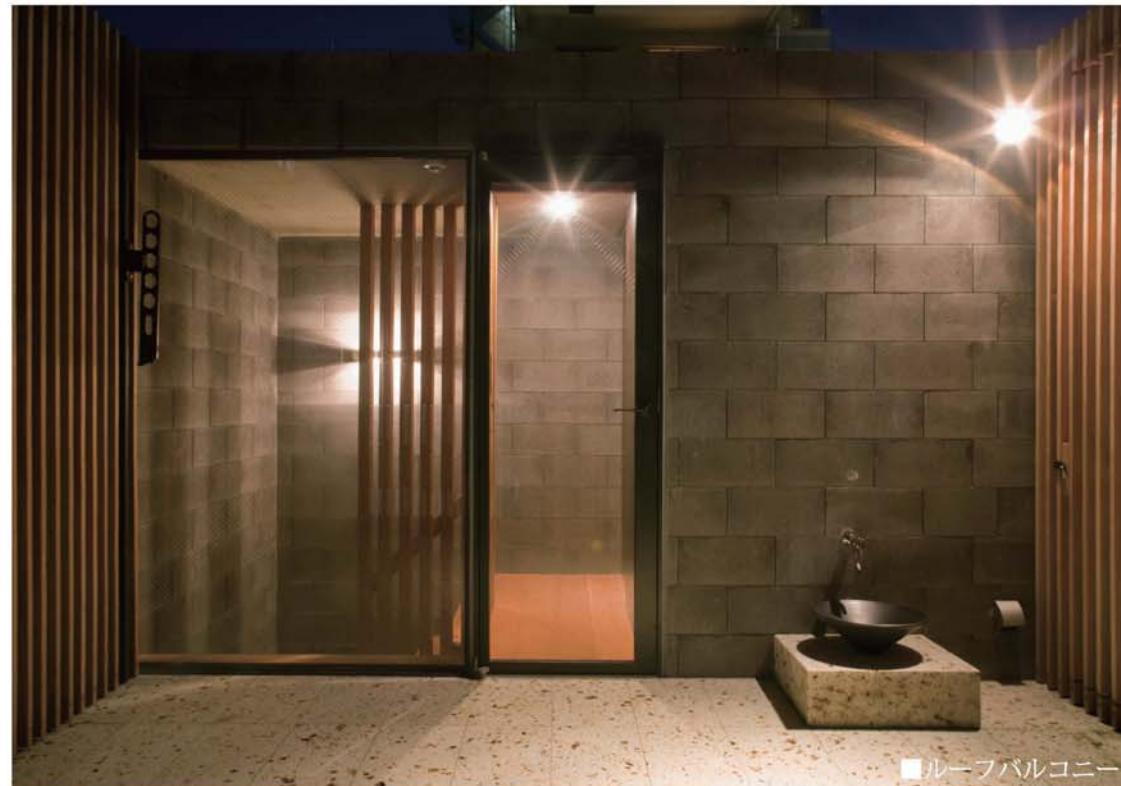
引き込むように配置。

木ルーバーが壁面のコ

ンクリートブロックの

組積造を更に引き立た

せる。

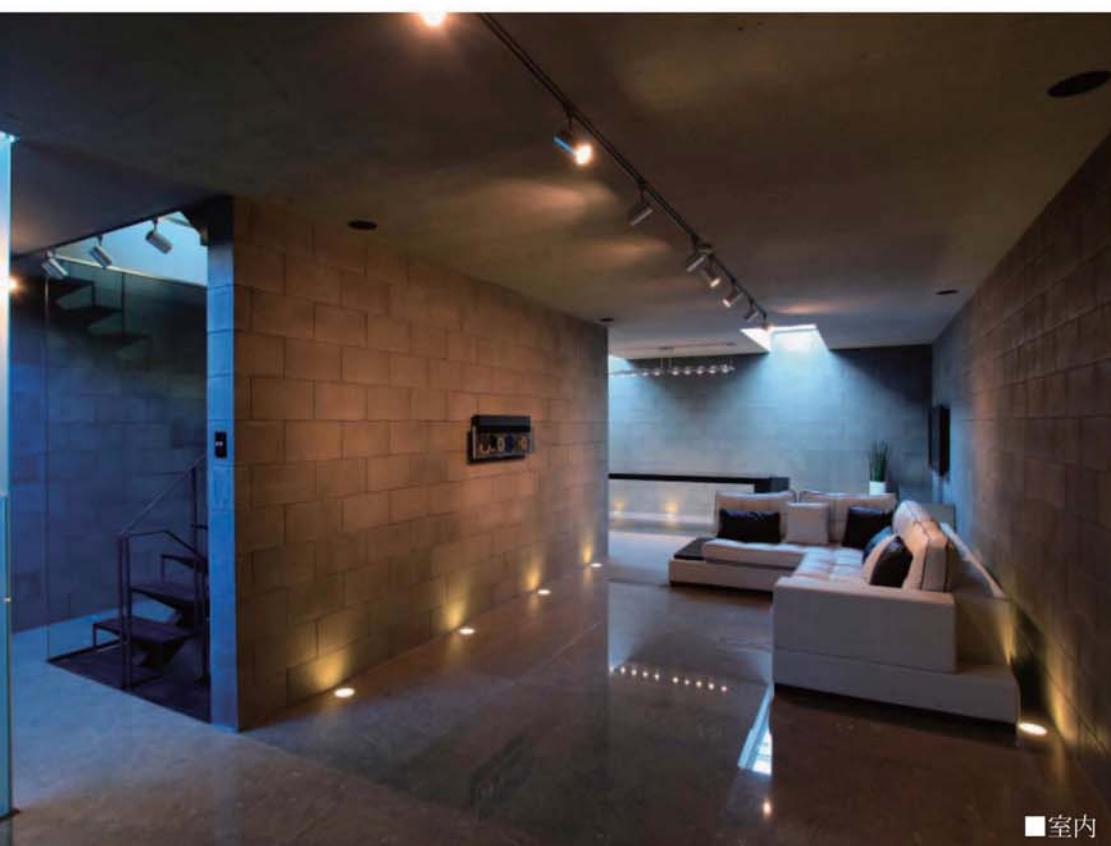


■ルーフバルコニー

- 構造 鉄筋コンクリート組積造
- 外装・内装壁 RM ユニット 特注色
- 建築設計 ラブアーキテクチャー
- 施工 株式会社本田工務店

LIPS

東京都 葛飾区



西洋の城郭を想わせる
壁面の内外は特徴ある
組積造。
そして、堅城な外観。

天井窓から組積造へと
射す光が目を引く。
組積造のガレージと住
む人を考えた屋内ガレ
ージ付の集合住宅。

■室内



■ガレージ



■ユニットバス

- 構造 鉄筋コンクリート組積造
- 外装・内装壁 RM ユニット 特注色
- 建築設計 アトリエブンク
- 施工 株式会社本田工務店

石双居

東京都 世田谷区



■3階バルコニーからパーゴラ

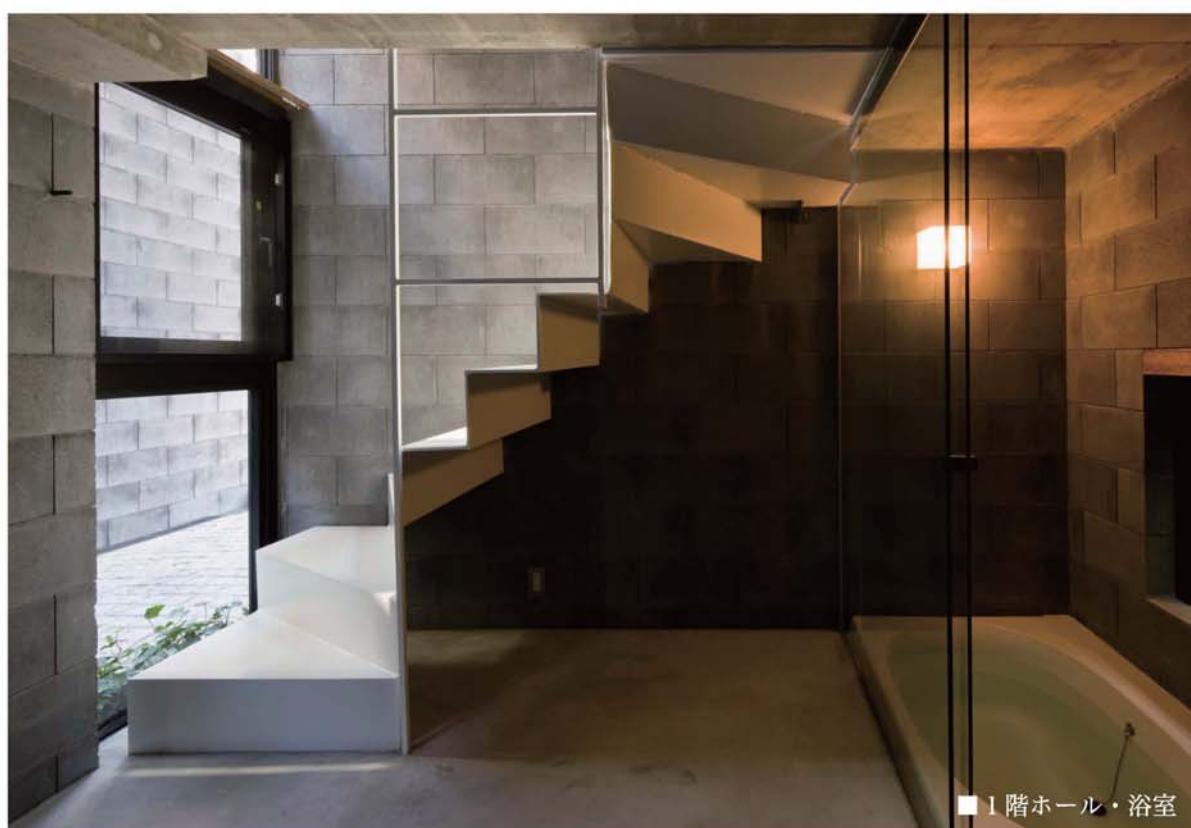


■建物正面

3階建てと2階建ての
2つの組積造。その真
ん中に木製の格子戸が
並ぶ。
パーゴラの周りを馬
蹄形に配置した住棟が
囲む地上3階7戸。
気候や経年変化等をよ
り感じ取れる集合住宅。



■ダイニング・キッチン

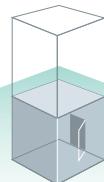


■1階ホール・浴室

■構造 鉄筋コンクリート組積造
■外装・内装壁 RM ユニット 特注色
■建築設計 ラブアーキテクチャー
■施工 株式会社本田工務店

HRM構工法の適用例

地下室にも使用できます。



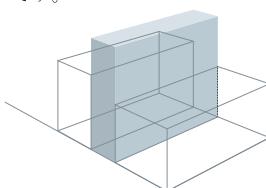
地下室

木造や鉄骨造との異種混構造も可能です。



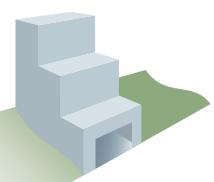
混構造

敷地の内側から施工が行なえるため、狭小敷地でもゼロロット建築が可能です。



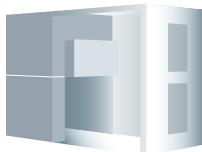
狭小敷地

傾斜地にも建築できます。



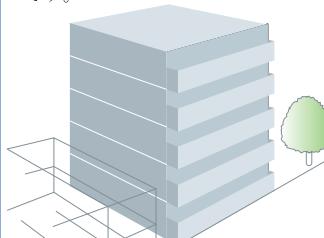
傾斜地

吹抜けなどの大空間や大開口が可能です。



吹き抜け

軒高 20m・5階建てまで建築可能です。



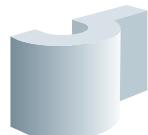
中層住宅

小型のユニットを組積していく建築工法ですから、雁行デザインなど複雑な形状でも対応できます。



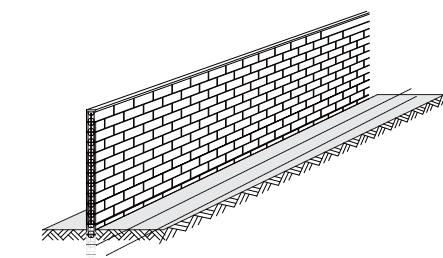
雁行デザイン

小型のユニットを組積していく建築工法ですから、曲面デザインにも対応できます。



曲面デザイン

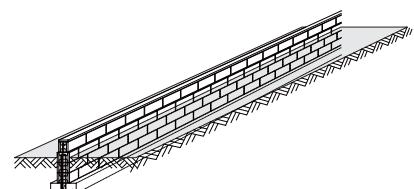
用途・目的を選ばない、HRM構工法の高い汎用性



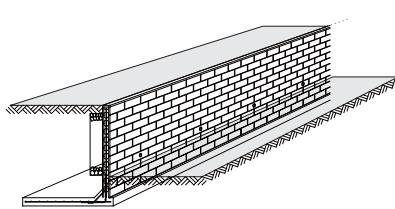
デッドスペースのないブロック塀として利用でき、在来RC工法ではできない隣地ぎりぎりの施工も可能。

◀ ブロック塀
(控えなし)

▶ 布基礎



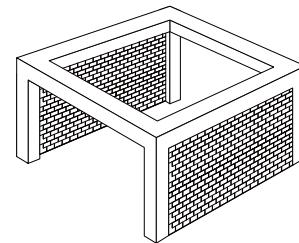
打込み型枠として土の掘削量が少なく、狭小敷地における布基礎としての利用も可能。



垂直壁面が可能なため狭小の敷地を有効活用した擁壁としての利用も可能。

◀ 擁壁

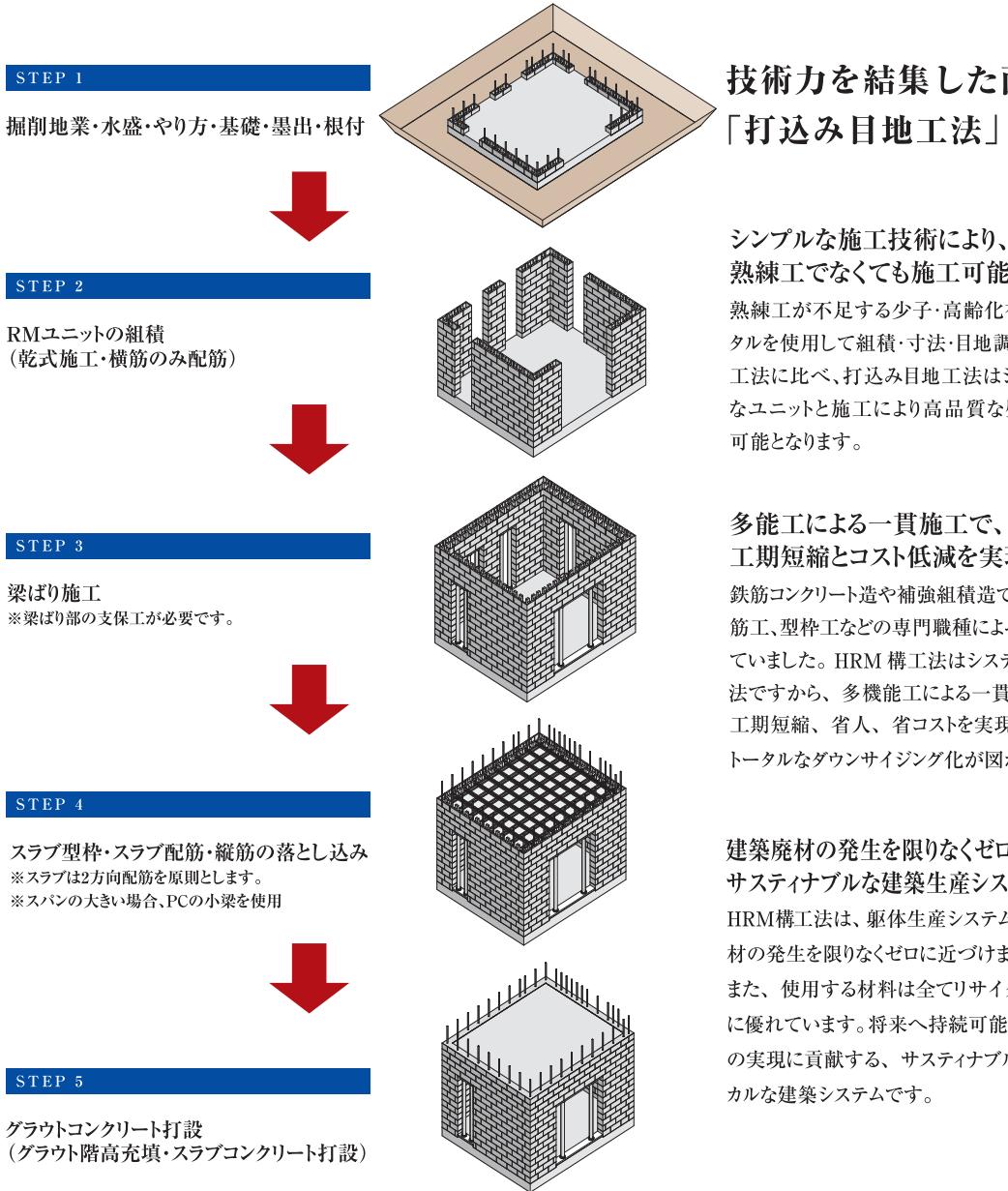
▶ 耐震壁



室内作業時の騒音・振動・粉塵が抑制でき、在来RC工法ではできない壁型枠作業が容易。

HRM構工法

「システムティックな躯体工法により、優れた施工性能とゼロエミッション化を実現します。」



技術力を結集した画期的な「打込み目地工法」

シンプルな施工技術により、熟練工でなくとも施工可能。

熟練工が不足する少子・高齢化社会では、モルタルを使用して組積・寸法・目地調整する従来の工法に比べ、打込み目地工法はシステムティックなユニットと施工により高品質な壁体の構築が可能となります。

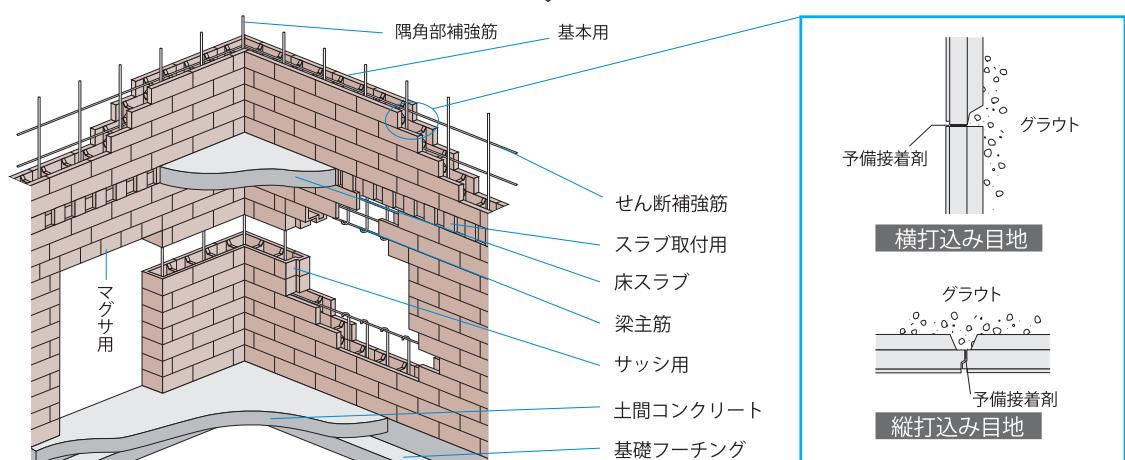
多能工による一貫施工で、工期短縮とコスト低減を実現。

鉄筋コンクリート造や補強組積造では、組積工、鉄筋工、型枠工などの専門職種によって分業化されていました。HRM構工法はシステムティックな工法ですから、多機能工による一貫施工が可能。工期短縮、省人、省コストを実現し、建築施工トータルなダウンサイジング化が図れます。

建築廃材の発生を限りなくゼロに近づける、サステナブルな建築生産システム。

HRM構工法は、躯体生産システムからの建築廃材の発生を限りなくゼロに近づけます。

また、使用する材料は全てリサイクルabiリティーに優れています。将来へ持続可能な循環型社会の実現に貢献する、サステナブルかつエコロジカルな建築システムです。



メーソンリーの健全な普及ならびに更なる研究開発の推進を目指して、素晴らしい未来造りに貢献します。

社団法人



ハイブリッド

メーソンリー工業会

ハイブリッドメーソンリー工業会とは

メーソンリーによる構工法は、世界で最も普及している伝統的耐火建築構工法です。メーソンリーの最大の特徴は他の構工法では実現できない高耐久・長寿命にあり、築後数百年を経った建築物は世界のありとあらゆる場所に無数に存在いたします。

しかし、わが国においては、明治から大正時代に建築された煉瓦や石を用いた建築物が若干残っている程度で、ほぼ無きに等しいのが実情であります。

そんな中で、旧建設省建築研究所が中心となって研究開発され平成15年告示化された鉄筋コンクリート組積造(RM造)は、メーソンリーと鉄筋コンクリートの要素技術を結合したハイブリッド型の画期的な構工法で様々な用途に使用できる技術であります。鉄筋コンクリート造と同程度の耐震性を確保した壁式構造の耐力壁、壁梁及び基礎梁を始めとし、既存建築物の耐震壁の増設や擁壁など様々な用途に使用できます。

しかし、この鉄筋コンクリート組積造には、まだ設計・施工方法や材料における改良工夫や研究開発の余地が多く残されており、関係者の継続的な協力および連携が必要とされています。

また、鉄筋格子・トラス筋・高性能グラウトなどの使用やPCa部材との組み合わせにより、より進化したメーソンリー構工法の開発も可能と考えられ、良質なメーソンリー建築物を実現するための品質管理体制の確立や、優れたメーソンリー技能工の育成及び全国をカバーする施工ネットワークの構築など、多くの課題も急いで解決されなければなりません。

わが国は急激な少子高齢社会を迎えた中で、低炭素社会の実現に向け、持続可能な安心・安全な生活空間の確保が急がれる中、耐震・耐火はもとより、高気密、高断熱、高遮音、長寿命で、経済性やデザインの多様性などにおいても優れた住宅の提供は、「多くの国民が豊かさを実感でき、国内消費に立脚した経済社会の実現」に必要不可欠であります。

ハイブリッド メーソンリー工業会は、こうした社会的な要請に唯一応えることのできる構工法が鉄筋コンクリート組積造(RM造)であると確信しており、メーソンリーの健全な普及ならびに更なる研究開発の推進を目指して、素晴らしい未来造りに貢献します。

平成21年7月吉日

設立発起人代表 石井克佑

ハイブリットメーソンリー工業会 会員一覧

株式会社よねざわ工業 福島シービー株式会社 十和田興業株式会社 高橋ブロック工業株式会社 株式会社本田工務店 北越産業株式会社
ワシロック工業株式会社 大栄産業株式会社 トクヤマ通商株式会社 太陽サーブ株式会社 太陽セメント工業株式会社 順不同

鉄筋コンクリート組積造用コンクリートブロック

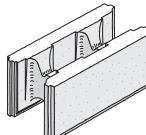
DENX

RMユニット デンクス

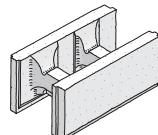
次世代の地球環境に配慮し、国土交通省告示の「鉄筋コンクリート組積造」に対応した、高品質なコンクリートブロックです。



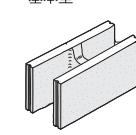
■デンクス200
基本型



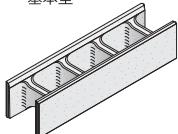
■デンクス240
基本型



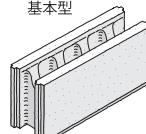
■デンクス1530
基本型



■デンクス1560
基本型



■デンクス120
(非耐力壁用)
基本型



※モジュールが
選択できます。

社団法人
JHMA ハイブリッド
メーソンリー工業会

TEL 06(6466)6751 U R I <http://www.jhma.or.jp/>
FAX 06(6466)6760 E-mail info@jhma.or.jp

※ハイブリットメーソンリー工業会は太陽セメント工業株式会社内にあります。

組積造の都市住宅特集号

編集発行人 ハイブリットメーソンリー工業会 〒553-0006 大阪府大阪市福島区吉野4-22-9 TEL 06-6466-6751 FAX 06-6466-6760 定価420円(税込)
本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著作権者及びハイブリットメーソンリー工業会からの文書による許諾を得ずにいかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

2011.1(1).5